

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 1 月 12 日 (2012.1.12)

【公表番号】特表 2011-506296 (P2011-506296A)

【公表日】平成 23 年 3 月 3 日 (2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報 2011-009

【出願番号】特願 2010-536476 (P2010-536476)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/88 (2006.01)

A 6 1 K 8/365 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 8/92 (2006.01)

A 6 1 K 8/362 (2006.01)

A 6 1 Q 1/10 (2006.01)

A 6 1 Q 1/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/88

A 6 1 K 8/365

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 8/92

A 6 1 K 8/362

A 6 1 Q 1/10

A 6 1 Q 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 17 日 (2011.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

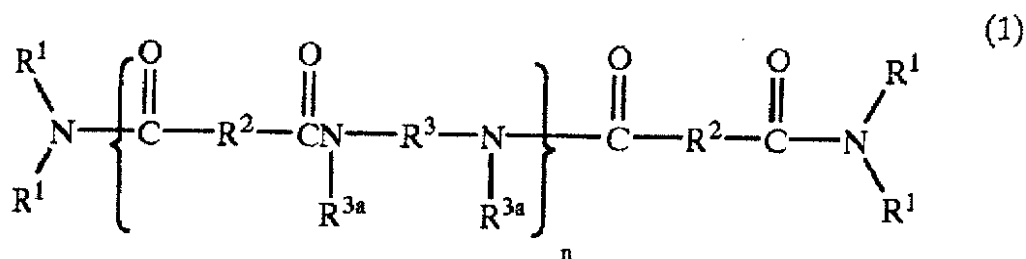
【請求項 1】

生理学的に許容される媒体中に、

(a) 第 3 級アミドまたはエステル官能基を有する末端基を有する少なくとも 1 種のポリアミド樹脂であって、

式 (1) :

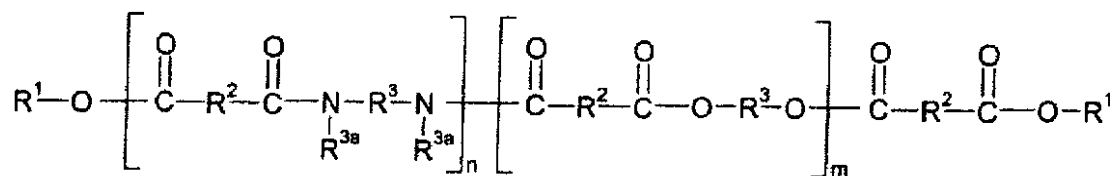
【化 1】



又は、

式 (2) :

【化 2】



(2)

(式中、

n は、末端アミド基が樹脂のアミド基の全数の 10% から 50% を占めるようにする、繰返し単位の数を表し、 n は 1 ~ 10、好ましくは 1 ~ 5 の範囲にあり、

R^1 基は独立に、 $C_1 \sim C_{22}$ の炭化水素系の基を表し、

R^2 基は独立に、 $C_2 \sim C_{42}$ の炭化水素系の基を表し、

R^3 基は独立に、少なくとも 2 個の炭素原子と、任意選択で、1 個または複数の酸素原子および / または窒素原子とを含む有機基を表し、

R^{3a} 基は独立に、水素原子、 $C_1 \sim C_{10}$ アルキル基、もしくは R^3 との直接結合を表す、または、それらが結合している窒素原子と R^3 とを含む複素環と一緒に形成している)

で示される 1 種または複数のコポリマーを含む、ポリアミド樹脂；

(b) エイコサン二酸と、ベヘン酸によりエステル化されたグリセロールとのジエステルである、少なくとも 1 種のエステル；ならびに

(c) パラフィンワックス、ポリメチレンワックス、ポリエチレンワックス、ポリプロピレンワックスまたはエチレン / プロピレンコポリマーワックス、マイクロクリスタリンワックスおよびオゾケライト、ならびにこれらの混合物から選択される、少なくとも 1 種の無極性ワックスを含む化粧料組成物。

【請求項 2】

末端アミドもしくはエステル基が、樹脂のアミド基およびエステル基の全数の 15% から 40%、好ましくは 20% から 35% を占める、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

R^1 基の少なくとも 1 つ、好ましくは全てが、4 から 22 個の炭素原子、好ましくは 16 から 22 個の炭素原子を含むアルキル基またはアルケニル基である、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

R^2 基の少なくとも 1 つ、好ましくは少なくとも 50%、もしくは全てさえもが、2 から 42 個、好ましくは 30 から 42 個の炭素原子を含むアルキレン基またはアルケニレン基である、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

R^{3a} が水素を表す、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

R^3 が、 $-NH-(CH_2CH_2NH)_pCH_2CH_2-NH-$ 基 (ここで、 p は 1 から 5 の整数である) などのポリアルキレンアミン基を表す、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記樹脂が、ポリスチレンによる校正を用いるゲル浸透クロマトグラフィーによって求めて、500 から 6000 g/mol、好ましくは 4000 から 6000 g/mol、さらに良好には 4000 から 5000 g/mol の範囲の重量平均分子量を有する、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

ポリアミド樹脂が、組成物の全重量に対して、1重量%から30重量%、好ましくは1重量%から20重量%、より好ましくは5重量%から15重量%、さらに良好には8重量%から12重量%を占め、

エステル(b)が、組成物の全重量に対して、0.01重量%から30重量%、好ましくは1重量%から20重量%、より好ましくは5重量%から15重量%、さらに良好には8重量%から12重量%を占め、

無極性ワックスが、組成物の全重量に対して、0.01重量%から40重量%、好ましくは1重量%から30重量%、より好ましくは5重量%から20重量%、さらに良好には8重量%から12重量%を占める、請求項1から7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項9】

無水である、請求項1から8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項10】

請求項1から9のいずれか一項に記載の組成物を、唇に局所適用することを含む、唇のメイクアップのための化粧方法。